耕　運　機　訓　練　資　料

1　耕運機構造等

種　類　外　観

※「クボタ」ホームページより

各　部　名　称

※「ホンダ　F401・501」取扱説明書より

エンジンスイッチ、クラッチ部操作

※「ホンダ　F401・501」取扱説明書より

※「クボタ　TMA」取扱説明書より

※「ホンダ　F401・501」取扱説明書より

※鋼・・・鉄と炭素との合金（炭素濃度２％以下）
抗張力が大きく、衝撃にも強いが凝固の際に収縮が著しく、薄いものが出来にくい。

ナタ爪について

２　活動の確認

（１）現場到着時の状況確認

ア　状況把握
- ・電路の遮断
- ・事故の概要、要救助者の状態
- ・関係者の対応状況（メンテナンス会社・製造元への連絡等）
- ・医師要請（ドクターカー）の必要の有無
- ・保有資器材で救出可能であるか

イ　危険要因の把握
- ・活動スペースに危険要因はないか（暗所、狭所、高所、他の機械類等）
- ・火災発生危険等の有無（危険物、毒劇物、可燃物等の有無）

（２）安全管理

ア　要救助者の受傷状態の確認及び救出活動に長時間を要する場合の医師要請。

イ　要救助者に隊員１名をつけ、容態の観察及び励ましを行う。

ウ　要救助者の体の一部が切断している場合は、切断部位が要救助者の目に触れないようにするとともに、切断された部分の保存も行う。

エ　救出方法の徹底

　特に活動スペースが分断される場合に各隊員に救出方法を徹底し、役割分担を明確にして、救出活動をスムーズに行うとともに、二次災害の防止も図る。

オ　当該機械の不意の作動がないように、確実に電路の遮断を実施するとともに、誤って電源が投入されないように監視員を配置する。

カ　活動中に火花を発生させる破壊器具を使用する場合は、付近の危険物、可燃物を排除し、消火器を配備する。また火災危険の大きな場合においては、警戒筒先の配備も考慮する。

キ　活動スペースが暗所、狭所、高所の場合が多く。また、他の機械類が隣接する場合も多いため、活動を行う前に活動スペースの確保を実施する。

ク　当該機械に人体に有害な物質等がある場合は、それらを排除する。排除できない場合は、隊員保護具等の着装、送排風機による換気等、必要な措置を講じる。

ケ　各機械のバネ部分、回転部分等、テンションがかかっている部分を分解、破壊する場合は、十分に注意する。

※他市消防マニュアルより